

Life Stage

新しさも歴史も景観の中に築かれて

どちらも
大切にしたい
新しいまち・
古いまち

福岡市の東西、博多湾沿いに都市高速が延びる。移り変わる車窓には海と福岡のまちが左右に広がる。

西方に行けば、空に向けてそびえ立つタワーや巨大なドーム、美しい白い砂浜が目の前に見えてくるだろう。最近では、大小の観覧車もすっかりシーサイドに馴染んできた。高層の新しいマンションのペランダからは、緑や花々が顔を覗かす。年々、明るく快適に進化し続ける福岡の景観に、市民も観光客も元気で開放的な

気分を演嘆するに違いない。

東方では、それとは対照的な景観が望める。何年も何年もかけてつくられたまち並みが、近代的なビルとの狭間にのんびり構えている。寺や町家、博多餅は、昔ながらの「博多」を今に伝え、季節が巡れば山笠などの伝統行事が歴史ある景観を背景に繰り広げられる。懐の深い人情味溢れる「博多」の景観。いつまでも大切に守っていききたい、福岡のまちの宝物のひとつだ。



K,L,M.博多区御供所地区には聖福寺、承天寺、東長寺など古い寺社が残る。約400年前の大船割りや伝統的な雰囲気を感じさせる町家が継承される貴重な景観だ。通りを横切る大や箱もどこののんびりしている。都市景観形成地区に指定されたこの地域では博多餅の保存なども行われ、古き良き時代を今に伝える。大博通りが近くにあるとは思えない閑静な佇まいに心落ち着く。

I,J.福岡市早良区に位置するシーサイドもち地区は、まちの将来イメージを描きながら、行政と住民が協力し計画的な景観をつくっている。洗練されたデザインと建物の建物、通りを彩るゆとりある広さの歩道や道路…。住民たちが憩う公園には、子どもたちの笑い声が響き渡る。福岡ドームなど福岡を代表する観光スポットも並び、市民に観光客に親しまれている景観だ。

